

一般質問

災害対策について



すみだの絆
田中 哲

問 ①平成30年7月豪雨における倉敷市真備町の浸水被害は、水害ハザードマップとほぼ同じ結果だった。本区でも水害ハザードマップと同じ浸水が起きた場合、被害想定はどの程度か。②避難方法として、まず広域的な水平避難が必要とされているが、荒川決壊が予想される場合の避難場所や避難方法の考えは。③水害においては、いつ、どのような防災行動をとるかを時系列で整理したタイムラインの考えが重要とされているが、区民にこの考えは浸透しているのか。また、どのようにに区民へ啓発していくのか。

答 ①荒川氾濫等の大規模水害時には、区内のほぼ全域が浸水するため、リスクは全域に及ぶと認識している。②現在、「首都圏における大規模水害広域避難検討会」において、避難場所及び避難手段・誘導に係るシミュレーション等を進め、検証している。また、「江東5区広域避難推進協議会」において、図上訓練等を検討しており、実効性のある広域避難の実現に向け、検討を進めていく。③タイムラインの周知については、区民に十分浸透していないと考えており、時系列に基づく避難行動の理解の重要性等について、「東京マイ・タイムライン」等のツールを活用し、意識啓発を進める。

問 都の受動喫煙防止条例が一部施行されたが、屋外での喫煙増加が懸念される。特に、錦糸町駅南口と両国駅西口の喫煙所は、マナーに関する指摘も多いため、新しい対応をとるべき。

答 区の啓発指導員による指導や清掃等も行っている。両喫煙所は利用者が多く、マナーに関する意見も多数あるため、指導を徹底し改善する。

江東5区大規模水害広域避難対策について



立憲民主党
中村 あきひろ

問 ①災害に対する危機意識を促す対策について、江戸川区はインパクトのある言葉で明確に危機意識が伝わる呼びかけを行い、足立区はCGを使った荒川氾濫のシミュレーション動画を公開した。本区でも、住民全員に伝わる強いメッセージやイメージしやすい方法で周知していくことが必要と考えるが、区長の見解は。②健康寿命を延ばすことは避難弱者の減少につながるが、高齢者の4人に1人は低所得者であり、そういった方でも利用できる憩いの場を提供することが自治体の役割である。そのためには、公共施設を円滑に利用できることが重要である。特に、学校施設を大幅に開放できる体制を整えるべき。③大規模水害による広域避難対策には、防災を総合的に捉えた組織が必要であり、災害がいつ起こるか分からない現状を踏まえ、早急に総合的かつ横断的な組織体制を整えることを強く要望する。

答 ①区民が的確な避難行動をとるためには、水害に対する正しい認識を持つことが重要で、他区の例を参考に、イメージしやすい方法を工夫し周知していく。②学校施設を利用して高齢者向け運動教室等の実施や、元気高齢者の自主サークル等も様々な活動を行っている。学校施設の利用希望者が多いことは認識しているが、学校教育への影響等もあるので、運用面での工夫を図り、利用拡大につながるよう検討する。③災害発生時に効果的な対応を図るには、庁内の組織横断的な連携が重要で、速やかに災害対策本部を設置し、一体的に災害対策を取り組むこととしている。日ごろから、職員災害対応訓練の充実・強化を図ることで、一層の防災力向上に努める。

特別委員会の活動

災害対策特別委員会

【8月1日】

墨田区地域防災計画（平成30年度修正）の概要及び避難勧告等に関するガイドラインの改定について

墨田区地域防災計画（平成30年度修正）の修正箇所及び避難勧告等に関するガイドラインの改定経緯等について説明があり、質疑を行った。

【10月25日】

台風19号の対応について

10月に発生した台風19号による区内の被害状況、災害対策本部設置や避難所開設等の本区の対応状況、課題と今後の方向性等について調査・検討を行った。



台風19号の影響で増水した荒川の様子

行政調査について

防災対策に関する調査・検討の参考に資するため、防災体験学習施設「そなエリア東京」へ行政調査を行うことを決定した。

議会改革特別委員会

【8月16日】

検討課題NO・3「一般質問の一括方式・分割方式」について

分割方式を「発言通告書に記載された件名をすべて分割して行う方式」とするなどの検討結果を決定した。

検討課題NO・22「区長等の反問・反論」について

反問・反論に対する議員の発言は、質疑の回数に含めないなどの検討結果を決定した。

【10月15日】

検討課題NO・12「特別委員会の見直し」について

各特別委員会委員長から議長に報告する1年間の活動状況を基に、政策会議において検討するなどを決定した。

検討課題NO・13「特別委員会の運営方針・公表」について

速やかに区議会ホームページで公表し、直近の区議会だよりに掲載するなどを決定した。

検討結果NO・14「政策会議一及び検討課題NO・15「政務活動費に関する透明性の確保」について

各会派の意見開陳を行った後、改めて協議することとした。

次回以降の委員会の開会について

次回及び次々回の本委員会については、12月22日に区議会議事堂外の場合で開会することを決定した。



行財政改革等特別委員会

【9月26日】

財政白書及び墨田区行財政改革実施計画の進捗状況について

財政白書及び墨田区行財政改革実施計画の進捗状況について、それぞれ説明があり、質疑を行った。なお、本件については、引き続き調査・検討することとし、次回委員会は、11月13日午後1時から開会することとした。



昨年、議事堂外で開会した委員会のもよう

議会改革特別委員会を区議会議事堂外で開会します

より開かれた議会の実現のため、多くの区民の皆様へ傍聴していただけるよう、以下のとおり、議会改革特別委員会を区議会議事堂外で開会します。

- ◆12月22日（日）
 - ・午後1時から みどりコミュニティセンター（4階 多目的ホール）
 - ・午後4時から すみだ生涯学習センター（B棟2階 マスターホール）
- *議題や傍聴に関する詳細は、決定次第、区議会ホームページにて知らせします。

【お問合せ】区議会事務局 ☎5608-6352

意見書（要旨）

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書

東京都に対し、次の事項を実現するよう強く要望します。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を令和2年度以後も継続すること。
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和2年度以後も継続すること。
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和2年度以後も継続すること。

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保に関する意見書

政府に対し、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、次の事項について取り組むよう強く要望します。

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車（サポカー）」や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させることともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
- 2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車（サポカーS）」に限定した運転免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。
- 3 運転免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド（予約）型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」の更なる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、運転免許の自主返納納における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 9月24日(火)

案件 議案16件、報告4件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 墨田区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例(一部改正)

区民の利便性の向上等を図るため、区長が行う事務において利用することができる特定個人情報利用範囲を拡大するほか、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正を踏まえ、所要の改正をするもの

区民にとってのメリットは

問 この条例改正によって、具体的にとどのようなことが改善されるのか。区民にとってのメリットは。

答 認可保育施設の入所に関する手続において、保育所等申込書と支給認定申請書の様式を一本化するなど、区民の利便性向上が図れる。

特定個人情報の取扱いについてはよく検討を

意見 個人情報保護の観点から、特定個人情報の取扱いについてはよく検討してほしい。

可決 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例外10件

地方公務員法及び地方自治法の改正

により、臨時・非常勤職員の任用・勤務条件に関する統一的な取扱いが定められた中で、会計年度任用職員制度が創設されたことに伴い、所要の条例の制定と一部改正をするもの

臨時職員・非常勤職員への対応は

問 厳しい財政状況の中、区の事務処理等に多くの臨時職員や非常勤職員が対応していると認識するが、これらの職員に対してどのような改善が図られるのか伺う。

答 一定の要件を満たす会計年度任用職員への期末手当の支給について条例に規定する。このほか、臨時的任用職員の通勤に係る経費の費用弁償など処遇改善が図られる。

非正規職員の増大は避けるべき

意見 この制度が進むことによって職員の非正規化が増大したり、アウトソーシングが無用に進むことは避けてもらいたい。

可決 令和元年度墨田区一般会計補正予算

認証保育所事業費、受動喫煙防止対策事業費、公園等新設・再整備事業費、子育て世帯等定住促進事業費等として8739万3千円を追加するもの

受動喫煙対策について

問 区は、受動喫煙防止等について様々な施策に取り組んでいるが、たばこ規制問題をどう考えるのかという点について、総合的な施策を打ち出す時期に来ているのではないか。

答 一定の考え方をまとめ、分かりやすい形で発信し、防止、禁煙だけでなく禁煙支援も併せて発信するといった、総合的な取組を行っていきたい。

報告 有償貸付期間終了後の曳舟文化センターの取扱いについて

令和2年12月31日をもって、一般財団法人墨田まちづくり公社に対しての有償貸付期間を終了する、曳舟文化センターの今後の取扱い及び修繕工事についての報告

大規模改修の機会に施設の改善を

問 段差の解消や障害者用トイレの設置など、誰もが利用しやすい施設にするべき。Wi・Fi対応も検討を。

答 バリアフリー等の対応も検討していくべきと考えるが、構造上の問題もあり、どのような修繕をしていくか調整したい。



有償貸付期間を終了する曳舟文化センター

報告 新保健施設等複合施設整備の進捗状況について

新保健施設等複合施設整備に関し、現段階における進捗状況の報告

利用者目線での設計を

問 設計には工学博士が名を連ねているが、実際に施設を利用する区民等の目線で設計を進めてほしい。
答 設計には区職員も参画しており、区民等が利用しやすい動線を意識して設計を進めていく。

地域子ども文教委員会

開会日 9月17日(火)

案件 議案5件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 墨田区子育てひろば条例(一部改正)

墨田区子育てひろばのうち、文花子育てひろばにおいて、一時預かり事業を新たに実施することに伴い、当該事業を実施するために必要な保育室を設けるもの

一時預かり事業の定員について

問 実態調査をしていると思うが、一時預かり事業の定員は地元のニーズに合っているのか。

答 一時預かりの保育室の広さから国の基準をもとに割り出し、一度に入れる人数を6人としている。

可決 墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例(一部改正)

都立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正を踏まえ、介護補償額を改定するほか、所要の規定整備をするもの

予算対応について

問 これまで学校の公務災害補償に対応したことはないそうだが、対象者が現れた場合、予算対応できるのか。
答 予算については、一定額計上されており、具体的に補償を受け

るような事案が発生した場合は、補正予算等を編成し対応する。

報告 墨田区総合運動場の進捗状況について

墨田区総合運動場のネーミングライツパートナー及び開場記念式典についての報告

ネーミングライツの審査基準は

問 区内事業者からもネーミングライツに応募があったにもかかわらず、今回、区外の事業者に決まったが、どのような審査基準であったのか。審査の基準を具体的には公開していないが、ネーミングライツの目的、趣旨に合致しているかどうか、名称が施設にふさわしいかどうか、また、金額について、総合的に評価した。

答 区内事業者からもネーミングライツに応募があったにもかかわらず、今回、区外の事業者に決まったが、どのような審査基準であったのか。審査の基準を具体的には公開していないが、ネーミングライツの目的、趣旨に合致しているかどうか、名称が施設にふさわしいかどうか、また、金額について、総合的に評価した。



建設中の墨田区総合運動場

報告 東京都保育所等利用多子世帯負担軽減事業について

本年10月1日から、認可保育施設等の多子世帯負担軽減事業を東京都が新たに実施することに伴い、当該補助制度を活用した多子世帯負担軽減事業を実施することについての報告

都の補助制度がなくなったときの対応は

問 財源的にも補助があるかないかで大きく変わってしまうと思うが、もし東京都の補助制度がなくなつたときには、どう対応していくのか。

答 都の方向性は出されていないが、区としては、必然性があるという判断であれば、できるだけ継続していくような方向で検討したいと考える。

報告 「墨田区学習状況調査」の結果について

墨田区学力向上新3年計画の取組成果の分析についての報告

理科について

問 結果に対しては、大変評価できるところと思う。しかし、以前から理科が弱いと言われており、課題となっていたが、このことに関しては、どのように考えているのか。

答 この3年の取組で、理科も向上しているが、他教科と比べて伸びない要因は、何度も問題を繰り返す等の機会が少なかったと感じている。今後は、「分かった」、「できた」ことを理科においても定着していく取組を進めていきたい。



産業都市委員会

開会日 9月20日(金)

案件 議案1件、報告4件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 正) 墨田区立公園条例(一部改正)

健康増進法の一部改正及び東京都子どもを受動喫煙から守る条例の制定に鑑み、全ての区立公園及び児童遊園において制限される行為に喫煙を加えるもの

公園の灰皿撤去と区民への周知について

問 現在、公園に固定されている灰皿が数か所残っているようだが、その撤去スケジュールは。また、公園が禁煙となることについて、区民への周知はどういった形で行うのか。

答 現在、9か所に灰皿等が残っている。禁煙になる旨と併せて現地看板等で周知し、翌年4月1日までに灰皿を撤去する。10月1日から周知看板等を順次設置し、区報やホームページでも周知を図る。

報告 区内循環バス停留所の新設及びルートの一部変更について

墨田区総合運動場の開設に合わせた停留所の新設検討及び停留所新設に伴う北西部ルートの一部変更についての報告

リハビリテーション病院前まで延伸は可能か

問 新設する総合運動場歩行者出入口付近の停留所に停車した後、

提案のルートを変更して、都リハビリテーション病院に停留所を設置できないかと地元から意見がある。このことについての考え方と、変更の可能性は。

答 様々なシミュレーション等を行い、北西部ルート全体の時間を最適化するルートとしている。リハビリテーション病院付近には、別の停留所があり、そちらを活用していただくよう住民説明会等で説明していく。



区内循環バス

報告 シェアサイクルの社会実験について

観光客の利便性向上や公共交通の補完が期待されるシェアサイクルについて、区が民間事業者を支援することによる活用状況の変化や今後の定着の見通しなどを検証するため、社会実験を行うことについての報告

デメリットと他区の社会実験の検証は

問 経費を掛けずに取り組むことは良いと思うが、デメリットがあると聞か。また、経費をかけた他区における社会実験の検証はしているのか。

答 デメリットは、場所の確保が困難であることが考えられる。また、導入経費等を掛けている区もあるが、採算が上がつっていないことも踏まえ、今回は費用を掛けない方法で取り組むこととした。

区民福祉委員会

開会日 9月19日(木)

案件 議案1件、陳情2件、報告1件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 墨田区災害弔慰金の支給等に関する条例(一部改正)

災害弔慰金の支給に関する法律及び同法施行令の一部改正に伴い、災害弔慰金等の支給に関する事項の調査審議に係る審査会を設置するほか、所要の規定整備をするもの

審査会の円滑な運営について

問 審査委員会を設置するに当たって、自然災害発生時に審査会委員が災害に巻き込まれてしまったときの対応は。

答 災害に備えた事態を想定し、一部委員が欠席しても審査会が円滑に行えるよう、進めていきたい。

採択 陳情 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する

小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置、小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税の減免措置、商業地等における固定資産税及び都市計画税の減額措置を、令和2年度以後も継続するよう、都に対し、意見書の提出を求めるもの

軽減措置を継続すべき

意見 23区の中では、事業を続けていくのは大変なことであるため、ぜひ継続していくべきと考える。

採択 陳情 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成に関する

現行の雌1万円、雄5千円の助成上限額を、目標として雌2万5千円、雄1万5千円に増額し、さらに、妊娠中3万円の助成を検討すること、東京都の包括補助への申請を至急行うよう、区に求めるもの

すぐにも助成額の引上げを

意見 全額助成はいろいろと議論もあるが、実際にボランティアの方の負担が大きくなっている。目標額について検討し、すぐにも助成額を引き上げるとともに、都の包括補助の申請もすべきと考える。



飼い主のいない猫に関するパンフレット

報告 墨田区特別養護老人ホームなりひらホームのボイラー故障に伴う対応について

なりひらホームのボイラー故障に伴う対応についての報告

歳出負担の平準化を優先したのか

問 2基あるボイラーの内、1基が壊れたが、残り1基で長期修繕計画に基づいた更新まで間に合わずとした判断は、緩慢すぎるのではないかの確かな判断をするための情報把握とか、現場との情報交換が足りなかったかと思っている。

義援金を贈りました

墨田区議会は10月7日、令和元年8月九州北部豪雨及び令和元年台風第15号による被災地を支援するため、社会福祉法人佐賀県共同募金会と千葉県災害対策本部へ、全議員から募った義援金など20万円をそれぞれ贈りました。



議員研修会のようす

議員研修会を開催

【7月25日・26日】

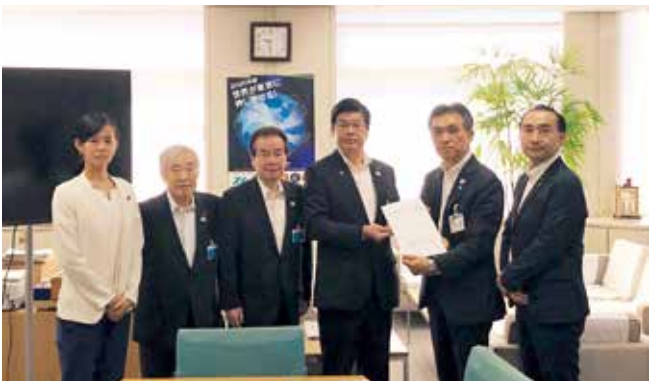
令和元年7月25日(木)・26日(金)の2日間、「コンプライアンスに関する議員研修会」を開催しました。議員として遵守しなければならない「コンプライアンス」をテーマとして、政治倫理や政務活動費、公職選挙法、議会運営の動向などについて、熱心に受講しました。

議員連盟の活動

【10月9日】

鉄道立体化促進議員連盟

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業及び周辺まちづくりの推進について、東京都及び東武鉄道株式会社に対し要望活動を行った。



東京都に対する要望活動のようす

会派構成等が一部変わりました

10月21日付けで、「墨田区議会立憲民主党」は解散し、同会派に所属していたあべきみこ議員の会派名は「墨田区議会立憲民主党」に、中村あきひろ議員の会派名は「立憲政策フォーラム」になりました。

(本号の記事における当該会派の表記は、解散前の会派名で掲載しています。)

議員の住所が変更になりました

加藤拓議員の住所が変更になりました。

【新住所】

墨田区緑1-2-12-501

令和元年度定例会9月議会 議決議案等の審議結果 ○賛成 ×反対 ※9月議会における会派名等を記載												
件 名			会派名等 () 内は会派所属議員数									
			自民党	公明党	共産党	墨立憲	きすな	墨田オ	新すみ	都ファ	無所属	N国党
			(12)	(7)	(5)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
区長提出議案	予算	令和元年度墨田区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例	墨田区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の分限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区子育てひろば条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	墨田区総合運動場施設整備工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事	墨田区教育委員会委員任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	規則	墨田区議会議事規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	決議	天皇陛下御即位に当たっての賀詞奉呈文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	意見書	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		高齢者の安全運転支援と移動手段の確保に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情・請願	陳情	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
		飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択



決算特別委員会のような様子

平成30年度決算を審査していますー決算特別委員会を設置ー

9月30日の本会議において、区長から平成30年度各会計歳入歳出決算書が、監査委員の意見書を付して提出されました。これらの提出を受けて、区議会では同日に16人の委員で構成する決算特別委員会を設置して、10月21日から審査を行っています。11月11日の最終日には、各会派の意見表明と採決が行われる予定となっています。

決算特別委員会の審査のようはインターネットで生中継しています。録画中継は生中継終了後1週間程度で配信しますので、区議会ホームページからご覧ください。

決算特別委員会委員(16人)

高柳東彦	はらつとむ	おとし	沖中勝広	樋口敏仁	福岡はるみ	あき博義	加藤ノミ	井上拓	かたし	たけな	藤崎のこ	さき清美	あさユカ	坂井カコ
(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)	(共産党)

平成30年度 墨田区各会計歳入歳出決算額

一般会計	介護保険特別会計
歳入 1,217億8,157万6,344円	歳入 218億6,810万5,182円
歳出 1,176億7,899万8,425円	歳出 209億2,517万 330円
差引 41億 257万7,919円	差引 9億4,293万4,852円

国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
歳入 281億4,794万1,567円	歳入 58億9,065万8,589円
歳出 271億7,656万4,032円	歳出 56億9,931万6,049円
差引 9億7,137万7,535円	差引 1億9,134万2,540円

会派等の所属議員(9月議会)

略称	会派名等	所属議員名(五十音順)
自民党	墨田区議会自由民主党	沖山 仁、加藤 拓、木内 清、坂井ひであき、坂井ユカコ、佐藤 篤、しもむら緑、たきざわ正宜、田中邦友、樋口敏郎、福田はるみ、藤崎こうき
公明党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、たかはしのりこ、高橋正利、とも宣子、はねだ福代
共産党	日本共産党墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、山下ひろみ
墨立憲	墨田区議会立憲民主党	あべきみこ、中村あきひろ
きすな	地域連合「すみだの絆」	田中 哲
墨田オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
新すみ	新しいすみだ	井上ノエミ
都ファ	都民ファーストの会墨田区議団	渋谷ちしゅう
無所属	無所属	堀よしあき
N国党	NHKから国民を守る党すみだ	かんだすなお

【次の会議日程(予定)】

	会議名	開会時間	傍聴席		
11月13日(水曜日)	行財政改革等特別委員会	午後1時	17階		
11月20日(水曜日)	議会運営委員会	午前11時30分			
11月26日(火曜日)					
11月27日(水曜日)	本会議(11月議会初日)	午後1時	19階		
11月28日(木曜日)	本会議				
11月29日(金曜日)					
12月 3日(火曜日)	地域子ども文教委員会	午後1時	17階		
12月 4日(水曜日)	区民福祉委員会				
12月 5日(木曜日)	産業都市委員会				
12月 6日(金曜日)	企画総務委員会				
12月10日(火曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	19階		
12月11日(水曜日)	本会議(11月議会最終日)	午後1時			
12月22日(日曜日)	議会改革特別委員会	①午後1時 ②午後4時	◎		

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。
◎区議会議事堂外で開会するものです。会場等は5面をご覧ください。